

日本と韓国の交流がいつそう進む中で在日韓国・朝鮮人の状況にも大きな変化が見られ、複雑になっています。また、朝鮮民主主義人民共和国に対する敵視政策が強化され、民族学校は危機にさらされています。こうした中で在日朝鮮人社会が形成されて100年が経過し、新たな歴史的評価が求められています。

私どもはこうした課題に答えるために創業者故朴慶植をはじめ多くの人々の参加を得て、在日朝鮮人運動史研究会関東部会、関西部会、韓日民族問題学会において月例会をはじめとして研究会を行ってきました。機関誌『在日朝鮮人史研究』は1977年の創刊以来36号を刊行し、この分野では唯一の研究会誌に成長しています。韓国の会員による『韓日民族問題研究』も11号を刊行し、韓国でも高い評価を受けています。

今年8月4日・5日には韓国在住会員を含めた第3回国際会議を開催し、より研究を深めていきたいと思っております。在日朝鮮人、日韓・日朝関係を築くためにも成功させたいと考え、皆様のご参加とご協力をお願い申し上げます。

□呼びかけ人：山田昭次、古庄正、崔碩義、金賛汀、水野直樹、飛田雄一、崔永鎬、金廣烈

*日時：2007年8月4日(土)13時～8月5日(日)

研究発表討論と韓人歴史資料館見学(5日)

*会場：大阪経済法科大学・東京麻布台セミナーハウス

(東京メトロ〈地下鉄〉日比谷線・神谷町駅、都営地下鉄大江戸線・赤羽橋駅下車)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-5 ☎03-3582-2922 FAX03-5545-7788

*費用：参加費¥1,000(資料代込) 懇親会費¥5,000(学生・韓国からの参加者には割引があります)

*宿泊：大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウスで泊まります。費用は和室(3人)で一人¥4,000。ベッドルームは¥5,000です。希望者は、参加申し込みをされる時に「宿泊希望」に○をつけて一緒に申し込んでください(その際には、男女の別をご記入ください)。

*主催：在日朝鮮人運動史研究会関東部会(代表・樋口雄一)

*共催：在日朝鮮人運動史研究会関西部会(代表・飛田雄一)

韓日民族問題学会(代表・崔永鎬)

申込締切：2007年7月15日(日)

在日朝鮮人運動史研究会関東部会側問い合わせ・申込先：神戸学生青年センター、飛田雄一

e-mail: hida@ksyc.jp TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878

<スケジュール>

■2007年8月4日(土)13時～17時30分(予定)

□研究発表

*報告：古庄正氏(在日朝鮮人運動史研究会関東部会・駒沢大学名誉教授)

*報告：(在日朝鮮人運動史研究会関東部会)

*報告：塚崎昌之氏「防衛庁図書館・偕行文庫から見えてくる朝鮮人強制労働・強制連行」(在日朝鮮人運動史研究会関西部会・大阪経済法科大学アジア研究所客員研究員)

*報告：金廣烈氏「最近の韓国における過去史清算の動き」(仮題)(韓日民族問題学会・光云大学教授)

*報告：崔長根氏「領土問題に関する韓・日両国民の認識の違い」

□懇親会(夕食)19時～21時(予定)

恵比寿ガーデンプレイス・銀座ライオン(B2 地下レストラン街味な小路) (東京メトロ地下鉄日比谷線・恵比寿駅下車)

<http://r.gnavi.co.jp/g112600/menu1.htm> ☎03-5424-1271

■2007年8月5日(日)

□韓人歴史資料館見学(予定)

《在日朝鮮人運動史研究会日・韓合同研究会参加申込書》

*氏名：

*所属：

*住所：

*電話番号(FAX)：

*メールアドレス：

*参加希望します(1日目・2日目)

*懇親会：8月4日(土)(19時00分～) 参加：希望します 希望しません

*宿泊：希望します(男性・女性)

希望されるもの、該当箇所に 印をつけてください。